

# 3日は、節分の献立です。



すしめし  
手巻きの具(チーズ・たまごやき・きゅうり・ウインナー)  
けんちん汁  
手巻きのり  
節分豆

## 【行事のおはなし】

節分とは、各季節のはじまりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことをいいます。日本では、特に立春の前日を「節分」とよび、一年の災いを払うために様々な行事が行われています。旧暦では「立春」で冬が終わり、春になって1年がはじまると考えられてきたので、立春の前日の「節分」は大みそかのように特に大切にされ行事として伝えられてきました。

## 【まめまき】

「鬼は外～福は内～」と唱えながら煎った大豆をまいたり、年の数だけ食べたりして一年の無病息災を願います。豆は「<sup>まめ</sup>魔滅(悪いものをなくすという意味)」に通じ、鬼を追い払う力が信じられてきました。

## 【恵方巻】

太巻き寿司をその年の恵方(縁起の良い方向)を向いて丸かじり(丸かぶり)するので、「恵方巻」「丸かぶり寿司」と呼ばれています。巻き寿司は「福を巻き込む」ため、切らずに丸かじりするのは「縁を切らないため」という意味が込められています。今年の恵方は南南東です。

## 【やいかがし( <sup>ひいらぎいwash</sup> 柊 鰯ともいう)】

ヒイラギの枝に鰯の頭をあぶったものを刺したものを家の軒先に吊るします。ヒイラギの葉のトゲが鬼の目を刺し、いわしの臭いで邪気を家に入れないようにする魔よけのためです。

